

事務事業評価シート

(H.30)No.	1159	(H.29)No.	1159
-----------	------	-----------	------

事務事業名	学校支援地域本部事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	文化生涯学習室	宮前 浩幸	

会計区分	事業コード	500505
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	社会教育総務費	
項 社会教育費	(小事業名)	
目 社会教育総務費	学校支援地域本部事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	2	生涯学習・生涯スポーツの推進
	施策	1	生涯学習
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	地域住民が学校を支援する体制を構築することにより、子どもの学力の定着・向上を図ります。また、地域ぐるみで子どもを育てる環境を整備し、地域の活性化を図ります。
事業内容	教員が子どもと向き合える時間を確保し、子どもたちの学力の定着・向上を図るため、学校の求めに応じて、授業中の学習支援や放課後の学習指導等、必要な支援を各地域のボランティアが行うことができる体制を構築します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・名張市「学校支援地域本部」実行委員会を組織 ・各学校の支援の充実 ・学校区ごとのチーフコーディネーターを配置 ・コーディネーター研修会・ボランティア研修会の実施。 		<ul style="list-style-type: none"> ・名張市「学校支援地域本部」実行委員会を組織 ・各学校の支援の充実 ・各学校に地域コーディネーターの配置 ・研修会の実施。 	
	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・名張市「学校支援地域本部」実行委員会を組織 ・各学校の支援の充実 ・各学校に地域コーディネーターの配置 ・研修会の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名張市「学校支援地域本部」実行委員会を組織 ・各学校の支援の充実 ・各学校に地域コーディネーターの配置 ・研修会の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名張市「学校支援地域本部」実行委員会を組織 ・各学校の支援の充実 ・各学校に地域コーディネーターの配置 ・研修会の実施。 		

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		788千円		2,406千円	2,406千円	2,406千円	2,406千円
内訳(千円)							
国・県支出金		489		1,604	1,604	1,604	1,604
地方債							
その他()							
一般財源	0	299	0	802	802	802	802
人工数							
職員		0.30人		0.30人	0.30人	0.30人	0.30人
臨時職員等		0.15人		0.15人	0.15人	0.15人	0.15人
②概算人件費	0千円	2,490千円	0千円	2,490千円	2,490千円	2,490千円	2,490千円
①+②総事業費	0千円	3,278千円	0千円	4,896千円	4,896千円	4,896千円	4,896千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)	小中学校19校で実施し、学校・家庭・地域が一体となり教育活動を推進する体制が構築されてきています。地域コーディネーターの選定や支援内容の充実などの課題があります。地域人材の発掘、養成とともに、地域づくり組織、市民団体との協働により、学校の多様な支援ニーズに応え、地域ぐるみでの子どもの教育や学校の支援に取り組むことができました。地域の協力やボランティアにより学校への支援協力を行っています。
------------------------------------	---

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	チーフコーディネーターが主体となり、研修会を開催し、ボランティアや地域コーディネーターを養成し、各学校のニーズに応じた学校支援が行えるように取り組みます。地域や住民の協力を得ながら少しずつ取組を拡げ、子どもの教育環境の充実や学力向上につなげる必要があります。
--------------------------------------	---

6. 事務事業の取組に関する市の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次名張市子ども教育ビジョン ・ばりっ子すくすく計画(第3次)
--------------------	--